広報おおえ

平成26年度所信と主要施策

旧家の雛、きらびやかに

最上川舟運で栄えた大江町の旧家に伝わる時代雛を紹介する、大江のひなまつりが３月28日から30日まで開催され、期間中は町内外からたくさんの方が訪れました。

金子家では、享保雛をはじめ、竹田人形や御所人形などさまざまな人形が展示され、訪れた方は人形一つ一つに関する逸話を聞きながら、豪華な装飾品に身を包んだその姿に見入っていました。（12ページに関連記事）

平成２６年
4
No.638

施政方針

～ここに暮らす喜びを　みんなが実感できる～

まちづくりの骨子

Town Planning 2014

平成26年度所信と主要施策の大要

平成26年度の予算などを審議する第1回大江町議会定例会が3月5日から14日までの会期で開かれました。

冒頭で渡邉町長が町政運営に関する所信を述べるとともに、今年度の主要施策について説明をおこないましたのでお伝えします。

所信

今年の冬は、関東地方をはじめとする太平洋側が記録的な降雪になるなど、かつてない異常な冬となり、ゲリラ豪雪という言葉も生まれました。大江町においては、現段階では雪による日常生活への影響や被害も少なく、町民の皆さまの雪に対する備えがあればこそと心より感謝申し上げます。

また、昨年7月には近年まれに見る豪雨が町を襲い、道路や農林道をはじめ、町内の至る所で被害が発生しましたが、これらの生活基盤は先人から受け継いだ財産であり、将来に引き継がなければならないという強い意志を持って復旧に取り組んでいます。平成26年度は本格的な復旧の年と位置付け、より早く再生されるよう最大の努力をしていきます。

大江町誕生から55年。町民一人一人から支えられ、世代を越えた営みの証が町内に残されています。朝日連峰から流れ出る月布川の周辺に集まった百川衆沢（ひゃくせんしゅうたく）は、長い年月をかけて平場を水田に変え、傾斜地を棚田に変えてきました。

長い時間をかけて形成された大江町に、今私たちが家族と共に住んでいます。昔も同じように、家庭があり、父と子、母と娘が住んでいました。「その時」に「その人」が「そのこと」をやり遂げて、今日の大江町が出来上がり「この時」を迎えています。

「この時」に生きている私たちは、「今とこれから」を見据えて、「このこと」を優先に熟慮を重ね、慎重かつ果敢な執行を果たしていかなければなりません。

平成26年度の町政運営については、町の基本計画である第9次大江町総合計画の「ここに暮らす喜びをみんなが実感できる町」の実現に向け、さらに進めていきます。

魅力あふれる町をつくる主役は町民一人一人です。お互いが協力し合い、譲り合い、助け合い、友だち力を信じて行動することが大切です。「自覚」を持ち「連携」のもと「行動」することを町づくりを進める基本理念として、次の5つの事項を重点的に取り組んでいきます。

①早期復旧と災害に強い町づくり

昨年の豪雨災害の復旧にはまだ時間を要する箇所もありますが、災害前の姿にできるだけ早く戻れるよう復旧事業を進めていきます。また、東日本大震災の教訓から、耐震性能が不足している中央公民館、橋、水道施設などの公共施設の耐震化や改修をすすめ、さらに、万が一の災害に備えて、情報伝達方法の確立や停

電時の電源確保など、防災対策を充実していきます。

②将来を担う人材の育成

町の将来を担う子どもを産み育てやすい環境をつくるため、中学生までの医療費無料化に加え、新たに出生祝い金制度を創設するほか、子育て支援を総合的かつ計画的におこなうための、子ども・子育て支援事業計画を策定します。また、国際化社会に対応した人材育成を目指し、アメリカモンタナ州へ中学生を派遣する、海外派遣事業に取り組んでいきます。

③安定、堅実な暮らしの実現

人口減少社会が進展する中、町外への流出防止と町外から積極的に転入者を呼び込むため、新たな住宅団地造成事業に着手するとともに、さらなる町営住宅の整備を計画的に進めていきます。また、生活の利便性向上と産業の活性化のため、道路インフラ整備も引き続き実施します。

④生業の振興対策

これまで町を支えてきた農林業は、高齢化と後継者不足という課題がある半面、都市部には農林業に魅力と関心を持つ人が増えています。それらの人材を積極的に呼び込み、この町に定住して農業を生業としていただくための支援として、町産の木材を利用した新規就農者用住宅を整備することにより、後継者確保、定住対策、木材利用という新たな好循環の輪を創出する対策を展開していきます。また、町内には農・商・工がそれぞれ連携する6次産業への取り組みも進められており、引き続き支援していきます。

⑤文化財の保護と交流人口の拡大

文化財である重要文化的景観や史跡左沢楯山城跡は、貴重な文化財であるとともに、一方でほかにはない観光資源としての側面もあります。6月から全国展開される、山形ディスティネーションキャンペーン（山形DC）に合わせ積極的な周知活動と受入体制を確立させ、町内の観光施設と連携し交流人口の拡大を進めていきます。

財政状況

町の財政状況については皆さまのご協力により、平成14年度末には85億6200万円まで達していた一般会計の地方債残高が、平成23年度末には50億円を割り込むレベルまで縮小しています。平成24年度決算では、財政指標で比較した場合、県内35市町村の中で「おおむね中上位」に位置するまでに改善しました。しかし、依然として厳しい水準にあることに変わりありません。

今後とも、5年後10年後を見据えた慎重かつ計画的な行財政運営に心掛けるとともに、自主財源となる基金の充実、事務事業の見直しとさらなる効率化・スリム化を進め、「自らの判断と責任による自立したまちづくりの実現」を目指し、住民の目線に立った施策を展開していく必要があると考えています。

大江町長 渡邉兵吾

主要施策 その1
定住人口対策／集落活性化／旧校舎などの町有施設の活用
まちづくり

人口流出の抑制と定住人口を確保する新たな施策として、藤田地区に20区画程度の小規模な住宅団地の造成に着手します。この住宅団地は1区画あたり90坪程度とし価格を低く抑え、若い世代でも買い求めやすいものにします。また、結婚を望む人を個別に支援する、婚活チューターの活動を推進し、結婚できる環境づくりを進めます。

▲宿泊可能な施設として改修する旧七軒西小学校

地域の活性化対策として、各区の地域活動を推進していく集落活性化支援交付金や町民が主体となって取り組む活動を支援する「やる気→元気活動支援交付金」を継続し、新たな活動団体の発掘と育成に努めるとともに、町民主体の活力あるまちづくりを支援していきます。また、町職員が各地域活動に参加し、地域の魅力と課題を地区民と一緒に探る、地域の魅力見つけ隊や、現在柳川地区を中心に活動している地域おこし協力隊の配置を継続し、地域活性化のための取り組みを積極的に推進していきます。

遊休施設となっている町有施設の活用については、旧七軒西小学校を、宿泊可能な施設として改修するとともに、管理運営に向けた準備を進めていきます。旧きらやか銀行大江支店は建物の耐震調査を実施し、さらに地域の方々の意見を聞きながら、具体的な利活用の方法を決定していきます。また、駅前公有地に関しては、町民検討委員会での報告を下に、活用方策の絞り込みをおこなっていきます。

主要施策 その2
新規就農者の育成および受入体制の整備／新品種開発／林業の振興
農林業の振興

農業者の減少により耕作放棄地が増加し、その対策が喫緊の課題となっていることから、国の農地中間管理事業の積極的な活用や青年就農給付金を活用した新規就農者や後継者の確保と育成を進めていきます。

また、新規就農者受入組織である大江町就農研修生受入協議会（ＯＳＩＮの会）活動への支援や、新規就農を目指すＩターン者のために、大江町型住宅を基本とした新規就農者用住宅の建設など、生活支援を充実させ就農者が新規参入しやすい環境を整えていきます。

スモモ日本一の里づくりを目指し、本町生まれのサンルージュをはじめ、新品種である光李（ひかり）、緑李（みどり）、愛李（らぶり）、赤李（あかり）の生産量増加を支援していきます。また、リンゴの奨励品種への切り替えも引き続き支援し、生産額の向上を目指していきます。また、ナス生産における労力軽減と収穫量の増加を図るため太陽光利用自動冠水装置についても助成していきます。

町内には近年、木材価格の低迷と、林家（りんか）の高齢化や離村などにより、手入れの行き届かない森林が急増しており、森林の保全が重要な課題となっています。町では、林家（りんか）の再生産費確保と関連産業の振興のため、大江町型住宅の販売活動を粘り強く進めるとともに、町産材の住宅用材としての利用拡大を図っていきます。また、住宅用材としての西山杉の天然乾燥材の生産と貯木を、生産者、林業事業体、製材所が協力しておこなう体制の確立を目指していきます。

主要施策 その3
企業支援／商業活性化／テルメ柏陵健康温泉館改修工事／山形ＤＣ推進事業
商工労働観光

企業が町内で操業しながら、さらに拡大できるような支援策として、新たに産業立地促進資金を創設し、企業の規模拡大や新規立地時の設備投資に対し金融機関から低利で融資を受けられる環境を整えていきます。

また、新たな企業を町外から呼び込むため、新たな工業団地の整備についても検討していきます。

４月からは消費増税が実施されることによる消費の落ち込みが懸念されることから、商工業者が販路拡大を目指し、ホームページを作成することへの支援や、町内での購買意欲を高めることを目的に商工会などが実施する中心商店街販売促進事業に対する支援を進め、商業の活性化を図っていきます。

現在改修工事をおこなっているテルメ柏陵健康温泉館は、要望の強かった露天風呂を新たに追加するほか、世界最大規模の有機ELパネルを使用した大型の展示品も設置し、リニューアルオープンを機会に入浴者の増加が図られるよう指定管理者である大江町産業振興公社と一体となり取り組んでいきます。

▲全面改修中のテルメ柏陵健康温泉館

今年は、JR東日本と連携しておこなう、大型観光キャンペーンである山形DCが開催されます。本町においては、昨年県内で初めて国の選定を受けた重要文化的景観を積極的にPRしながら、水郷大江夏まつり大会や大江の秋まつりなどの各種イベントを開催していくとともに、期間中は旧最上橋のライトアップや旧きらやか銀行を活用した写真展を開催するなど、町観光物産協会と連携して、山形DC推進事業を実施していきます。

主要施策 その4
町道の整備／町営住宅の拡充／自己水源の活用
建設・上下水道

町道の整備については、昨年10月に開通した町道藤田大明神線と同様、県立左沢高等学校から小見方面に至る町道藤田堂屋敷線を、今後のまちづくりを進めるうえで重要な路線と位置付け、平成26年度は第1工区の延長420mについて完成させる予定です。

主要地方道大江西川線は、沢口から柳川間の通称「柳川バイパス」の供用開始に引き続き、貫見から沢口間についても事業を開始します。今年度は、貫見側から道路改良および橋梁工事が着工される予定です。昨年3月に設立した「大江・西川両町道路整備促進期成同盟会」を母体とし、早期完成に向け国および県当局に対しさらなる要望に努めていきます。

町営住宅ついては、若者の定住促進や高齢者の居住の安定を図るため整備拡充を進めており、現在は町営西原住宅F棟の建設に取り組んでいます。これは3世帯集合住宅で、子育て世帯向けに従来よりも広めの2LDKとしています。また、住環境整備事業として、木造住宅の耐震化を促進する耐震診断士派遣事業や、町内産西山杉の需要を拡大する西山杉材利用促進事業、町内事業者が施工する住宅の新築、増改築に補助する住宅建築奨励事業を継続していきます。

水道事業については、昨年12月にまとめられた村山広域水道の検討委員会報告書の中で、浄水施設における薬品抽入機能や、沈殿、排泥機能の強化などのハード対策に加えて、企業局と受水市町の情報共有や受水量調整などのソフト対策により、7・18豪雨程度の大雨では断水は発生しないものと推定されています。本町においては、今後とも村山広域水道からの受水を主体としながらも、切留、柳川地区の自己水源を有効に活

◀昨年10月に開通した町道藤田大明神線

用するため、平成26年度は、安定的に供給できるよう切留導水管を現在の塩ビ管からポリエチレン管に布設替えするほか、柳川浄水場に豪雨時にも取水を可能とするための原水貯留池を築造するなど、有事の際に相互に融通できるバックアップ機能の拡張に取り組んでいきます。

主要施策 その5
高齢者訪問事業／出生祝金の創設／子育て支援／生活習慣病予防
健康・福祉・医療

本町における65歳以上の高齢化率は32・5％であり、加えて高齢者の単身世帯が増加傾向にあります。高齢者は、生活する上で支障が生じる機会が多くなりがちになるため、それらの実態を早期に把握するとともに、身近な相談なども受けることができるように高齢者への訪問事業を推進していきます。

子どもたちの健全な育成は、地域社会の活性化と将来のまちづくりに欠くことのできないものです。「安心して子どもを産み育てられる町」の実現に向け、子育て世代への支援に努めていきます。

妊娠期の健康診査、乳児の全戸訪問と育児相談、特定不妊治療費助成制度などを継続するほか、新たに「すくすく出生祝金」を創設し、誕生を喜び健やかな成長を支援するための事業を推進していきます。

子ども・子育て会議などの意見を踏まえて「大江町子ども・子育て支援事業計画」を策定し、一人一人が健やかに成長することができるよう、保育と幼児教育などの子育て支援を総合的に推進していきます。また、保育料を軽減する「いきいき子育て支援事業」などを継続し、経済的負担の軽減に努めるほか、民間事業者とも連携のうえ、早朝・延長保育、一時預かり、ファミリーサポートセンター事業など、子育て家庭の就労と育児の共存を支援していきます。

疾病の早期発見と早期治療につながる健康診査や精密検査の受診率が低い状況にあることから受診勧奨を強化します。また、がんやメタボリックシンドロームなどの生活習慣病の予防策として、食事や運動などの生活習慣の改善を促す健康教室を開催し、予防知識の普及と周知に努め、町民が「自らの健康は自ら守る」という健康増進に取り組む意識づくりを推進していきます。

乳幼児健康診断の様子

主要施策 その6
ふるさと教育／中央公民館全面改修／重要文化的景観の啓発
学校教育・社会教育

学校教育の振興では、「心やさしくたくましい子どもの育成」を基本目標として、大江町らしい共生教育を推進していきます。昨年3月の重要文化的景観の選定を契機に、地域の良さや歴史を知る「ふるさと教育」をより一層充実したものとするため、地域との関わりや地域住民の方から生きた知識や技能を学ぶ体験学習、職業体験などを展開し、学校と地域とが連携して開かれた学校づくりを進めていきます。

中央公民館は生涯学習の拠点施設として、全面改築する予定です。昨年の8月以降、庁舎内部の職員で検討し、さらに町民検討委員会から提出された意見・要望を踏まえて、大江町中央公民館整備計画を取りまとめました。この整備計画に基づいて、平成26年度は、実施設計および現在の施設の解体をおこない、平成27年度に工事を予定しています。

文化財保護については、昨年3月「最上川の流通・往来及び左沢町場の景観」が文化財保護法に基づく重要文化的景観として県内で初めて国選定を受けました。選定により、暮らしと生業が織り成す景観の認識が一層深まり、次代につながるまちづくりの推進に向けて大きな弾みにな

ると期待されます。そのような中、より一層の理解を深めるため、小中学生による文化的景観絵画コンクールの実施や、ワークショップの開催など普及活動に努めるほか、文化的景観の重要な構成要素である建築物の調査を引き続きおこない、整備計画を策定していきます。

今年は4年に1度の町民大運動会開催の年です。全国的に地域コミュニティの衰退が憂慮されている中で、町内全地区が参加しておこなわれる運動会は非常に有意義な取り組みです。区長会をはじめ関係者の協力を得ながら、町民運動会を通して地域内の連携や親睦を深め、地域の活性化を促進していきます。

総合型地域スポーツクラブ「O－STEP」は設立から3年目を迎えます。会員数は年を追うごとに増加し、現在は200名を越えています。平成26年度はクラブの更なる発展を目指し、指導者の確保や会員交流会の実施、気軽に参加できるスポーツ教室の開催など、今後とも生涯スポーツを楽しめる環境づくりを支援していきます。

本郷東小学校冒険学校（貫見・御館山）

主要施策 その7 災害時の連絡体制／自主防災組織の推進／消防力の強化／防犯灯の整備

危機管理

昨年7月18日の豪雨は、実に37年ぶりとなる甚大な被害を本町にもたらしました。幸い人的な被害は無かったものの、住家や農地、山林などに、今もなおその爪痕を残しています。この豪雨災害や3年前に発生した東日本大震災を教訓として、平成26年度も引き続き防災・減災対策を推進していきます。

災害や有事の際には、住民へ避難などの情報を瞬時にできるだけ広く伝達する必要があることから、防災行政無線の整備など具体化に向けた検討を進めるほか、正確かつ迅速な情報収集および的確な避難情報の発令ができる体制の構築をおこなっていきます。また、避難所となる体育センターや防災拠点となる役場庁舎に太陽光発電装置を設置し、蓄電装置と合わせて万一の停電の際、町民への情報伝達などに不具合が生じないよう備えていきます。

地域住民が相互に助け合う自主防災組織は、災害発生時に避難誘導や救出活動などで特に重要な役割を果たすことから、自主防災組織の結成と育成を支援する取り組みを推進するとともに、町民一人一人が「自らの身は自らで守る」という防災の基本理念を醸成し、防災意識を高めるための啓発に努めていきます。

地域防災力の中核的存在となる消防団の団員数は年々減少傾向にありますが、若者が入団しやすく、消防団員として活動しやすい環境を整えるため、消防団装備の充実や消防団協力事業所制度を活用するとともに、耐震性防火水槽の整備を進め消防力の強化をすすめます。

防犯対策につきましては、各地域で管理している約1000灯の防犯灯について、今後数年をめどに長寿命で消費電力が少なく、環境に配慮したLED防犯灯へ更新することを支援し、地域防犯力の強化と環境負荷の軽減を図ります。また、交通安全対策についても、町民の交通安全意識の高揚を図るため交通安全町民大会を実施するほか、安全施設などの設置について関係機関に対し、引き続き働きかけていきます。

9区自主防災会　勉強会

平成26年度 一般会計当初予算 48億2,130万円

自覚と連携のもと　ともに行動するまちづくり

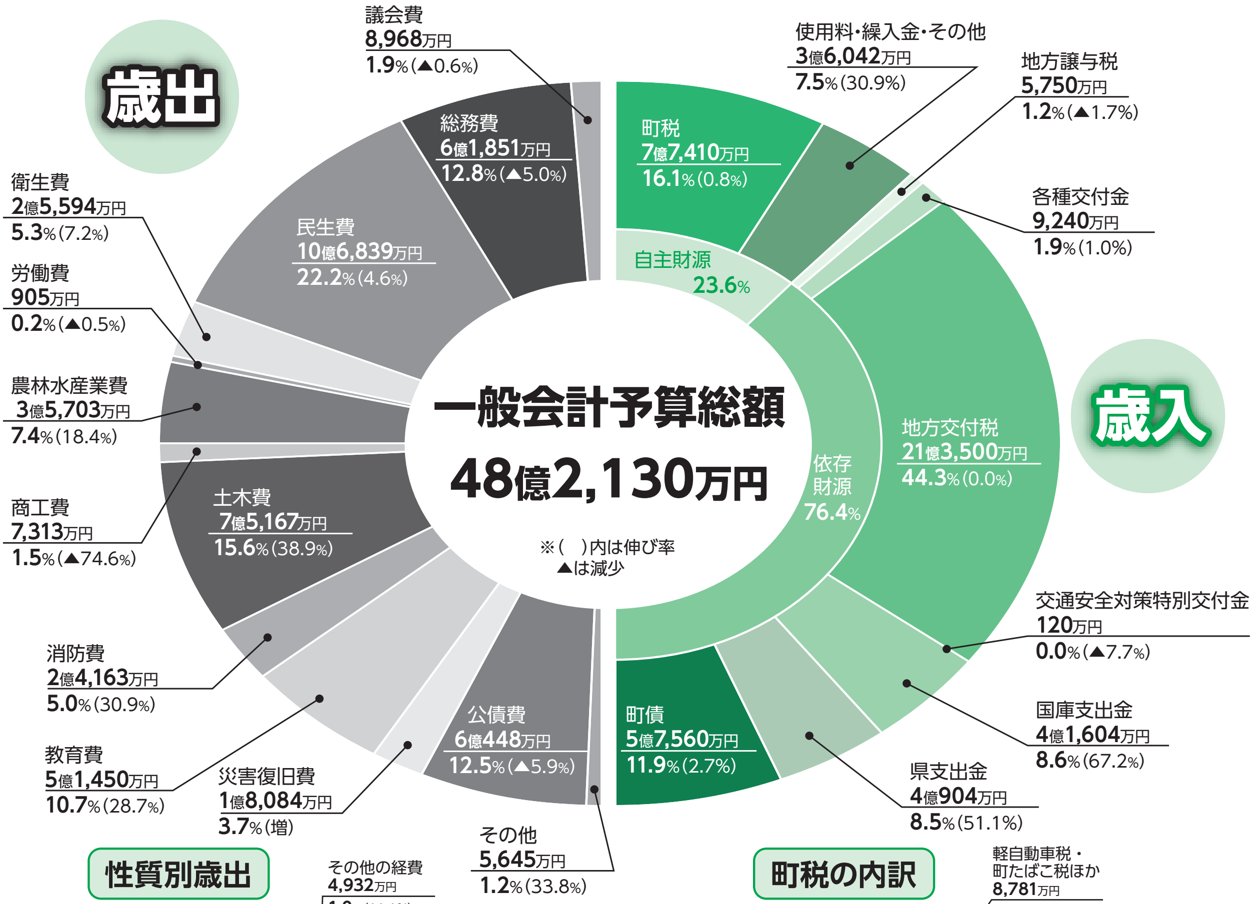
平成26年度当初予算が、３月の町議会定例会で可決されました。

一般会計の総額は48億2, 130万円で、前年度当初予算額と比較すると9. 3%の増となりました。

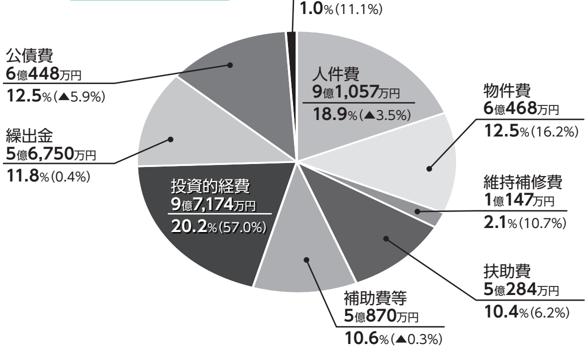
歳出面での特徴は、中央公民館施設整備事業や道路改良事業、昨年７月の豪雨災害に係る災害復旧事業などの投資的経費が大幅に増加。消費税率引上げの影響により物件費も増加しています。一方、公債費については町債に係る元利償還金の償還終了等により減少しています。

歳入面では、投資的経費に係る国庫支出金や県支出金の大幅な増加とともに、税制改正を考慮し町税も微増を見込んでいます。

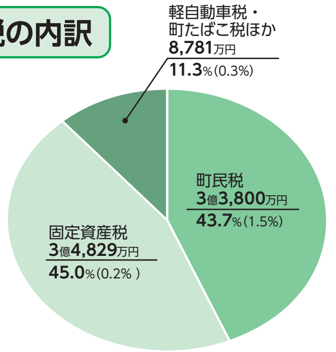
特別会計を含む各会計の予算概要をグラフと表で紹介します。（予算は千円単位ですが、グラフ表示上は四捨五入により万円単位としています）



性質別歳出



町税の内訳



◆今年度の主な事業

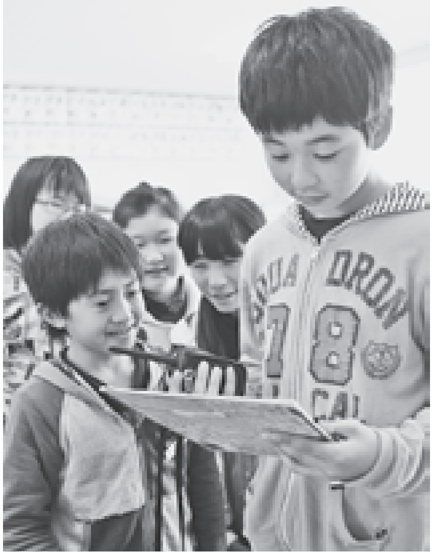
（単位：万円）

事業名	事業概要	予算額	事業名	事業概要	予算額
デマンド型タクシー運行事業	移動困難者や公共交通空白地帯の地域住民の交通手段確保	5,850	産業立地促進資金貸付金	企業の設備投資のための原資預託	5,000
「やる気→元気」活動支援補助	まちづくり活動に取り組む団体等への支援	3,500	道路新設改良事業	町道藤田堂屋敷線道路改良ほか	250,710
集落活性化支援交付金事業	各集落への活動交付金	6,000	住宅建築奨励事業	住宅建築・増改築に対する補助	5,000
景観形成事業	生垣、屋根など優良景観形成に対する補助	4,295	教育活動推進事業	中学生海外派遣事業、学習生活指導補助員配置など	22,134
老人福祉センター改修事業	老朽化した柏陵荘の改修工事など	13,790	放課後子どもプラン推進事業	放課後子ども教室の開催など	5,227
子育て支援医療費	中学3年生までの医療費を無料化	27,129	中央公民館施設整備事業	改築に係る実施設計及び解体工事など	84,620
子育て支援事業	すくすく出生祝金、子育て支援補助金など	6,012	左沢楯山城跡保存整備事業	史跡発掘調査、災害復旧工事など	23,536
さわやか健康づくり推進事業	40歳以上の町民を対象に温泉施設の利用補助	6,700	文化的景観保護推進事業	重要建築物基礎調査、整備計画策定、普及活動経費など	3,876
合併処理浄化槽設置補助事業	合併処理浄化槽設置に対する補助	21,301	生涯スポーツ振興事業	総合型スポーツクラブ運営補助など	3,570
農機具等整備補助事業	農機具等の購入に対する補助	4,400	防犯対策事業	防犯灯ＬＥＤ化推進事業補助	12,784
新規就農者用住宅建設事業	大江町型住宅による新規就農者用住宅建設	20,600	土木施設災害復旧事業	町道柳川徳沢線災害復旧工事など	111,827
大江のうまいもの市開催事業	大江のうまいもの市運営補助	1,600	農地、農業用施設災害復旧事業	荻野北方第二工区災害復旧工事など	37,240

◆特別会計・事業会計

	歳入		歳出	
国民健康保険	国民健康保険税	1億7,961万円	保険給付費	5億9,463万円
	国県支出金	2億2,294万円	後期高齢者支援金等	1億1,389万円
	療養給付費等交付金	1億797万円	介護納付金	5,809万円
	前期高齢者交付金	2億1,101万円	共同事業拠出金	1億541万円
	共同事業交付金	9,263万円	保健事業費	1,212万円
	その他	1億2,834万円	その他	5,836万円
	合計	9億4,250万円	合計	9億4,250万円
後期高齢者医療	保険料	6,104万円	広域連合納付金	9,379万円
	繰入金	3,343万円	総務費	69万円
	その他	63万円	諸支出金・予備費	62万円
	合計	9,510万円	合計	9,510万円
介護保険	保険料	1億5,929万円	保険給付費	9億6,956万円
	国県支出金	4億813万円	地域支援事業費	2,581万円
	支払基金交付金	2億8,333万円	総務費	2,468万円
	繰入金	1億6,622万円	その他	55万円
	その他	363万円		
	合計	10億2,060万円	合計	10億2,060万円
宅地造成事業	繰入金	9,544万円	宅地造成費	9,545万円
	繰越金	5万円	基金積立金・予備費	5万円
	その他	1万円		
	合計	9,550万円	合計	9,550万円

	歳入		歳出	
簡易水道事業	使用料・手数料	126万円	施設費	964万円
	繰入金	890万円	公債費	12万円
	その他	4万円	その他	44万円
	合計	1,020万円	合計	1,020万円
公共下水道事業	分担金・負担金	405万円	施設費	3,960万円
	使用料・手数料	5,050万円	下水道建設費	4,272万円
	国庫支出金	1,355万円	公債費	1億6,356万円
	繰入金	1億5,780万円	総務費	302万円
	その他	2,310万円	予備費	10万円
	合計	2億4,900万円	合計	2億4,900万円
農業集落排水事業	使用料・手数料	619万円	施設費	1,267万円
	繰入金	3,690万円	公債費	2,354万円
	その他	1万円	その他	689万円
	合計	4,310万円	合計	4,310万円
水道事業	営業収益	2億2,883万円	営業費用	2億4,611万円
	営業外収益	3,477万円	その他	1,749万円
	合計	2億6,360万円	合計	2億6,360万円
	企業債	1億4,190万円	建設改良費	2億719万円
	国庫支出金	2,776万円	企業債償還金	3,360万円
	負担金	300万円	その他資本的支出・予備費	266万円
	合計	1億7,266万円	合計	2億4,345万円



■災害時に必要な知識を学ぶ～左沢小学校防災学習会～

２月20日、左沢小学校で防災学習会が開催されました。

町では、１月に左沢小学校から、集めたアルミ缶を販売した収益金を寄付いただきました。その寄付金をもとに、災害時に使用する保存食（アルファ米）を購入しました。今回の学習会は、これをきっかけに児童たちに災害に対する知識を深めてもらおうと、町と小学校が協力して開催しました。

学習会では、アルファ米の調理や昨年７月の豪雨災害の時にも活躍した無線の交信体験などがおこなわれ、児童たちは実際災害が発生した時、どのような対応が必要になってくるのか理解を深めました。

学習後、児童たちからは「私たちの寄付金が役立ってうれしい」「家でも災害に備えて準備しなければならないと感じた」などの積極的な感想が出されました。

◀無線機を使って、役場庁舎と交信体験をおこないました

■関東方面から多くの方が参加しました ～大江町就農研修生受入協議会現地見学会～

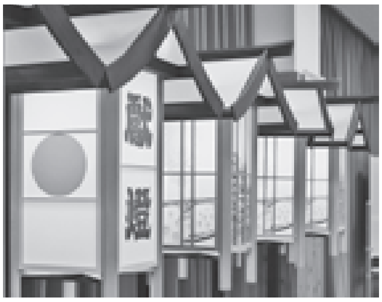
新規就農者の受け入れと育成をおこなっている、大江町就農研修生受入協議会（ＯＳＩＮの会・渡辺誠一会長）が２月22日から23日、冬の現地見学会をおこないました。

ＯＳＩＮの会では、大江町で新規就農を希望する方を見つけようと、東京などで開催された「新農業人フェア」に積極的に参加し、呼びかけてきました。

今回の見学会には関東方面から５組10名の方が参加し、受入農家が経営する、ほうれんそう畑や桃畑、原木しいたけのハウスを見学しながら、大江町の農業について説明を受けました。

今回参加された方のうち１組が、４月から町内で研修を受けています。ＯＳＩＮの会では今後も、より多くの方から大江町で就農してもらうため、さらに活動を進めていく予定です。

原木しいたけのハウスを見学▶



◀夏まつりと秋まつり用に２種類の絵柄の行燈（あんどん）が作製されました

■レトロな町並みに趣のある行燈（あんどん）を ～「にぎわい　ふたたび停車場通り」行燈保存委員会～

夏まつり時、８区がおこなっている「水郷灯ろうまつり」が、より趣のある形に生まれ変わります。

８区では今年度から、夏まつりと秋まつりをさらに盛り上げていこうと、町の「やる気→元気活動支援補助金」を活用し、これまで設置していた行燈を改良しました。

行燈（あんどん）は、屋根と高さ約185cmの脚が追加され、重要文化的景観の町並みを意識したデザインに仕上がっています。

３月13日には、研修会がおこなわれ、佐藤進実行委員長は「改良型の行燈（あんどん）を設置することで、訪れた人はレトロなまちなみとまつり、行燈（あんどん）とのコントラストをさらに楽しむことができ、また区が一体となっておこなうことで幅広いコミュニケーションが生まれます。今年の夏まつりを目標に準備を進めたいです」と今後の意気込みを語ってくれました。

今年度の区長さんです

平成26年度の区長が決まりましたのでお知らせします。4月3日には、町民ふれあい会館で委嘱状交付式がおこなわれ、同席上で4人の区長に永年勤続感謝状が贈呈されました。

今年1年間、各区の代表者として、地域と行政を繋げる重要な掛け橋となっていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

木の沢／古藤　誠
第1区／五十嵐桂二
第2区／鈴木　功
★第3区／金山雅広
★第4区／岸　勝彦
第5区／松田憲二
★第6区／三沢　司
◎第7区／松田強三
第8区／峯田紀一
★第9区／松田栄一
第10区／安藤光雄
第11区／岡田文治
第12区／庄司賢治
第13区／後藤恒雄
★蛍水／古澤　功
○藤田／伊藤　仁
小見／伊藤登啓
★月が丘／荒木和弘
★富沢／堀　実
★用／齋藤勝彦

★深沢／小野惣次郎
★伏熊／佐竹正博
★小漆川／園岡正一
みなみ／関野勇一
★若原／佐藤俊一
★市の沢／前田　稔
下北山／林　尚夫
★荻野／最上三彌
★堂屋敷／阿部亙悦
★諏訪原／金山富一
★美郷／佐竹　渉
★下モ原／佐竹良昭
★山崎／佐竹幸男
○望山／小林勇吉
上北山／林　忠三郎
梨木原／渡辺秀一
★滝の沢／大沼收三
葛沢／石川博資
原／阿部隆一
所部／松田　正

★塩野平／渡辺昭一郎
★顔好／鈴木俊一
三合田／柏倉五郎
久保／渡邉伸一
★材木／伊藤正信
★橋上／柏倉　茂
小釿／結城壽一
十八才／鈴木正清
★楢山／東海林正廣
★月布／横山秀廣
○貫見／松田正志
★黒森／庄司總一郎
小清／佐竹一郎
沢口／大場光男
中沢口／庄司利彦
★道海／鈴木与エ門
柳川平／大場茂善
田ノ沢／楠ケ谷朋秋
矢引沢／佐竹義廣
★古寺／佐藤やよゑ

◎…区長会長　○…同副会長　★…新任区長　（敬称略）

平成26年度 永年勤続感謝状

◆10年勤続
松田　強三（7　区）

◆5年勤続
古藤　　誠（木の沢）
伊藤　登啓（小　見）
小林　勇吉（望　山）

議会
town council
3月定例会

大江町議会第1回定例会が、3月5日から14日までの会期で開かれました。今定例会では、美郷区コミュニティーセンターをはじめ、各施設の設置および管理に関する条例の制定のほか、人事案件や平成26年度の各会計予算、平成25年度の補正予算などが審議され、原案通り可決されました。

【補正予算】
平成25年度一般会計補正予算（11号）は、歳入歳出にそれぞれ1億6670万円を追加し53億9490万円となりました。

長い間お疲れ様でした

○小林　伸広（建設水道課）
○池田　義孝（出納室）
○鈴木昭一郎（農業委員会事務局）
○松田　誠子（さくら保育園）
○五十嵐久子（さくら保育園）
○斎藤　優子（教育文化課）
○林　　俊一（議会事務局）
※3月31日付で退職された方々です。

新採職員を紹介します

伊藤　尚史（小　見）教育文化課

皆様のお役に立てるようがんばります。よろしくお願いいたします。

渡辺みなみ（6　区）税務町民課

住民の1人であることを忘れずに、明るいまちづくりに貢献します。

清野　翔太（藤　田）総務課

今後の大江町活性化のため、全力で職務に取り組んでいきます。

①雛会場、清野家
②雛会場、岡田家
③ひなまつりコンサート初参加の愛唱会の皆さん

3/23・28~30 春を彩る大江のひなまつり

３月の下旬、町内では江戸時代に最上川舟運により上方からもたらされた雛人形を楽しむ大江のひなまつりをはじめ、雛に関する各種イベントが開催されました。

３月23日には、文化祭実行委員会などが主催する、音の文化祭ひなまつりコンサートが開催され、10団体が出演しました。今回初出場で、平均年齢75歳の愛唱会は、「大江町民歌」「うれしいひなまつり」など４曲を元気に歌い、会場を沸かせました。

３月28日から30日まで、大江のひなまつりが開催されました。金子家、清野家、岡田家、歴史民俗資料館では、各家で大切に保管されてきた雛人形を見ることができました。また、お休み処の錦庵では、雛の展示のほかに甘酒や手料理がふるまわれました。

金子家では、豪華絢爛(ごうかけんらん)な享保雛が展示され、訪れた方は「雛人形一つ一つの作りがしっかりしていて、見応えがあります」「雛もさることながら、飾られている家の雰囲気も素敵ですね」と話していました。

2/28 熟年の芸能、百花繚乱

町内に住む、お年寄りのいきがいづくりと交流の促進を目的に２月28日、大江町老人芸能大会が、らふらんす大江で開催されました。

今年は各地区の老人クラブ会員、クアハウス入所者など31の個人や団体が、この日のために練習してきた歌謡曲や舞踊、楽器の演奏などの各種芸能が発表しました。中には昔、大江町で結婚式をおこなう時に歌われた“左沢箪笥長持担ぎ唄”など懐かしい唄も披露されました。

この他、特別出演としてさくら保育園、大江剣聖会、大江歌謡会も参加し大会に花を添え、会場からは出演者に大きな拍手が送られました。

2/23 くっつき“かまくら”で雪を楽しむ

子どもたちに、ものづくりの楽しさを伝えようと２月23日、東北芸術工科大学の学生たちが、やながわ自然ファクトリー2014を開催しました。

当日は、６個のかまくら同士を通路でつなげる「こたつむり」作りに挑戦しました。かまくらにはそれぞれ「遊びにいきたくなる」「寝心地がいい」などのテーマが設定され、子どもたちは、紙コップのシャンデリアや色水で模様を描くなど、ユニークなかまくらを作り上げました。

「こたつむり」を完成させると、子どもたちは中でお汁粉を食べたり、飾りを見て楽しむなど、いつもとは異なる雪遊びを楽しみました。

3/1 しっかり伸ばしておいしいうどん作り

さまざまな活動を通じて自然への理解を深める緑の少年団で、１年の活動をしめくくる解団式が、３月１日におこなわれました。

今年緑の少年団は、山形県緑の少年団交流研修大会への参加やなめこの植菌、大山自然公園での自然観察会などの活動をおこないました。

当日は、解団式と合わせて小麦粉を練って作るうどん打ち体験もおこなわれました。おいしいうどんを作るには、力を入れてしっかりこねる必要があり、子どもたちは「堅くてこねられない」と言いながら、これまで活動をともにしてきた仲間たちと協力し、力いっぱい打ちました。

2/28～3/9 これも立派な芸術品

京都市内で画廊を経営する松本顕龍氏が収集したポスターを展示する企画展が、２月28日から３月９日までふれあい会館で開催されました。

この企画はポスターの持つ魅力をより多くの人に知ってもらうために開催しました。会場には葛飾北斎の作品などを展示した「浮世絵名画展」や印象派の巨匠「ルノアール展」など1990年代から去年まで、関西地方の美術展やデパートなどで開催された、さまざまな展示会のポスター２千枚が展示されました。

訪れた人は、ポスターだからこそ表現できる魅力に見入っていました。

3/18 青苧の卒業証書を手に新たな旅立ち

３月18日、各町立小学校で卒業式がおこなわれました。

本郷東小学校では、安孫子一彦校長が卒業生一人一人に青苧の和紙で作られた卒業証書を授与し「自分の頭でよく考え、答えを出し、立派で強い大人になってください」と式辞を述べました。

また、別れの言葉では、卒業生全員で「自分たちの手で漉いた、大切な青苧の卒業証書を手に、たくさんの思い出と大きな喜びで胸がいっぱいです」と卒業の喜びを発表しました。

最後に、全校生全員で校歌を歌い、新たな旅立ちを祝福しました。

3/7 グッバイ！また会いましょう

４年間にわたり各学校で英語を教えてくれたＡＬＴのマシュー・レイニングさん（マットさん）が、アメリカモンタナ州に帰国するのを前に、各小学校では特別な給食で別れを惜しみました。

３月７日、左沢小学校ではマットさんの誕生日に合わせてツナクリームスパゲッティーなど、マットさんの好物を集めた「マット先生ありがとう献立」を囲みお別れの給食会をおこないました。

マットさんは「元気いっぱい授業を受けてくれるので、学校に教えに行く日は楽しみにしていました。数年後、戻ってきた時は、またよろしくお願いします」と児童たちに別れを告げました。

お知らせ Information

春季全国火災予防運動

◆期間／４月９日㈬～22日㈭
◆統一標語／
『消すまでは　心の警報　ＯＮのまま』
※４月16日㈬～22日㈫まで、７時と20時に防火サイレンを吹鳴します
※お問い合わせは、消防署大江分署☎(62)３１２０、または総務課危機管理係まで☎(62)２１８７まで

大江町消防団春季消防演習

◆日時／４月27日㈰
◆場所／左沢小学校グランドおよび左沢内町・横町通り
◆内容／消防操法、一斉放水、分列行進など
※当日は、左沢地区の交通規制があります。ご協力をお願いいたします
※お問い合わせは、消防署大江分署☎(62)３１２０、または総務課危機管理係まで☎(62)２１８７まで

あなたのやる気を大江町の元気に！やる気→元気活動支援事業を募集します！

町では、町民のみなさんが主体的におこなうまちづくり活動や公益活動をおこなう団体を育成するため「やる気→元気活動支援事業」を実施しています。「団体の活動をよりステップアップさせたい」「まちづくりのアイディアがあるので仲間と一緒に活動を始めたい」という方、ぜひ、この補助金をご活用ください。
◆補助対象／町内を主たる活動の拠点とする３人以上の団体やグループがおこなう事業
◆補助内容／
①スタート支援…類似の補助金を受けたことのない団体を対象とし、30万円を上限に補助対象経費の100％を補助します
②ステップアップ支援…類似の補助金を受けたことのある団体を対象に、100万円を上限に補助対象経費の90％を補助します
◆申込期限／平成26年５月30日㈮
※大江町ＨＰでも詳しい情報がご覧いただけます
※審査のうえ、交付を決定します
※お申し込み・お問い合わせは、政策推進課政策推進係☎(62)２１１８まで

第38回 全国育樹祭式典行事公募参加者募集

全国育樹祭は、国土緑化運動の中心的行事として、毎年全国から多くの参加者しています。今年、第38回全国育樹祭が山形県で開催されます。幅広い世代の多くの県民の方々からご参加いただくため、大会の参加者を公募します。
◆開　催　日／10月12日㈰
◆会　　場／「山形県遊学の森」（金山町）
◆応募期限／５月30日㈮ 当日消印有効
◆申込方法／所定の申込書に必要事項を記入し、郵送、ＦＡＸ、Ｅメールまたは持参により下記へお申し込みください。
※応募多数の場合は抽選となります
※申込書は農林課に設置しております。また、町のホームページおよび県のホームページからもダウンロードできます
◆お申し込み、お問い合わせは、農林課事業係
☎(62)2115または、県全国育樹祭推進室
☎023-630-3282まで

企業技術者資格技能研修事業のお知らせ

町内に事業所を有する事業主が、人材育成を目的として事業主または従業員が事業に必要な資格や免許、技能を習得する場合に、事業主が負担する経費を次のとおり補助します。ぜひご利用ください。
◆対象者／町内に事業所を有する事業者
◆対象資格技能／事業を経営する上で必要とする資格技能、取得することにより事業所に有意義であると認められる資格技能
◆対象経費／事業主が負担する受験料、受講料
◆金額／対象経費の２分の１以内で10万円を限度とします
※お問い合わせは、政策推進課起業推進係☎(62)２１３９まで

地域産業創造事業補助金のお知らせ

産業の発展と雇用創出に向けて、町内の中小企業者や創業を目指す起業家などの取り組みに対して、町で支援します。

軽自動車税（年税額）

◆補助対象者／町内の中小企業、組合、グループ、町内で創業をめざす起業家（個人含）

◆補助対象事業／地域資源を活用し、または、地域ニーズに対応した商品、サービスの開発や事業化に取り組む事業

◆補助金額／

①従来の生業とは異なる新事業への取り組み…対象経費の3分の2以内

②生業の延長ではあるが、地域資源を活用した特色ある取組…補助対象経費の3分の1以内

※企業、グループ、団体などは単年度で200万円、個人起業家は単年度で100万円を限度とし、補助期間は2年間を限度とします

※お問い合わせは、政策推進課起業推進係☎(62)2139まで

善意いただきました

大江町産の青苧復活を目指し活動をおこなっている青苧復活夢見隊より、3月13日青苧の和紙を使用した書、4点を寄付いただきました。

この書は吉村美栄子県知事から直々に書いていただいたもので、額装には青苧の和紙の製作について指導していただいた、東北芸術工科大学文化財保存修復研究センターの大山龍顕氏から協力してもらいました。

町では「感謝」の文字が書かれている書を町内の小中学校へ、「花の心、竹の心」の文字が書かれている書を中央公民館に飾る予定です。

朝日少年自然の家企画事業のご案内

【段ボールでピザを焼こう！】

◆日時／5月3日(土) 9時25分～14時20分

◆場所／朝日少年自然の家（大江町）

◆内容／段ボールで作ったオーブンで、ピザを焼きます

◆対象・定員／小学3年生～中学生およびその家族100名（先着順）

◆会費／一人500円

【プラネタリウム一般公開～春・夏セレクション～】

◆日時／

・5月10日(土)…1回目14時30分～15時20分、2回目16時～16時50分

・5月11日(日)…1回目9時50分～10時40分、11時20分～12時10分

◆場所／朝日少年自然の家（大江町）

◆内容／プロのクラリネット奏者の生演奏を聴きながら、プロのアナウンサーによるナレーターで春と夏の星空をご案内します

◆対象・定員／どなたでも各回80名（先着順）

◆会費／無料

※お問い合わせは、山形県朝日少年自然の家☎(62)4125まで

危険物取得者・消防整備士免状の写真書き換えを

消防法令では、危険物取扱者および消防設備士の義務として、免状交付の日から10年以内ごとに写真の書き換えをしなければならない規定となっています。写真の書き換えをされていない方は速やかに手続きをされるようお知らせします。

※申請書は、各消防本部および(財)消防試験研究センター山形県支部にあります

※お問い合わせは、(財)消防試験研究センター山形県支部☎023－631－0761まで

日に日に暖かくなり、町角の雪の塊もすっかりなくなりました。まさに春です。私は誕生日よりも、この季節に「また1年大人になった（年を取ったな）」と感じます。年を重ねるにつれて人は成長しますが、味覚もそうだと思います。子どもの頃食べられなかった物が、大人になったら食べられるようになるという経験は誰しもあると思います。私にとって春の味覚フキノトウがその一つです。先日、母がとれたてのフキノトウを天ぷらにして夕飯に出しました。いつもなら苦味を我慢して食べるのですが、今回は素直に「うまい」と感じました。後で調べたところ、この苦味には冬の間に低下した新陳代謝を促進させ、体を活性化させる作用があるそうです。広報3年目、この苦味でいいスタートを切りたいです。

（山家雄志）

リレー随想／《第82回》

手作りおひな様作品展　鈴木啓子

やってみてわかったこと

白く雪に覆われた朝日連峰がピンク色に染まり、奥羽山脈からオレンジ色の光とともに太陽が姿を現すと、命あるものは目を覚まし、生きる力を与えられます。この大自然の中で、四季を通し、自然の偉大さを感じながらの生活ができる農業とはなんと素晴らしい職業でしょうか！

私は鎌倉で生まれ育ち、31歳で妻と2人の子供とともに大江町に住み農業を始めました。

懸命に働き、お金を得て楽しい生活を追求するというバブルの絶頂期に青春時代を送り、そのお祭り騒ぎが終りに近づく頃、日常の喧騒からも距離を置くようになりました。非日常性の体験の中から自分が本来求めていた姿がおぼろげながら見えてきた時、この先の人生を今までどおり生きていくのか、それとも自分が本来追い求めていた姿を追求するのかの選択になりました。

自分が本来追い求めてきた姿。一言で言うとそれは「人間の基本的な生き方」ということになるのでしょうか。具体的には？…農業！という結論になったのです。

当時は新規就農という言葉自体になじみがなく、どちらかというと田舎暮らしという方が一般的でした。ですので、私たちのような「農業やる！」という人が珍しがられました。

町内の各農家さんからは沢山の応援のお言葉をいただきましたが、中には「そんなに甘くないよ」というきびしい視線をされていた方もいました。「これが現実なんだな」とその時思いました。

どんな仕事でも楽ではありません。ですが、何が、どう大変なのかはやってみないとわかりません。就農するにあたって、ただ一つ決めたことは「どんなに大変なことがあってもできる限りやりきろう」ということでした。「できる」「できない」ではありません。「やる」か「やらない」かです。

今大江町では新規就農者を受け入れる仕組みができつつあり、本格的に後継者育成に取り組み始めています。うれしい限りです。

大江町に来て18年と半年。町内外の方々から多大なご支援をいただき、また大変なご迷惑もおかけしたこともあります。

今あるものに目を向け、満たされている事と、自然や周りのもの全てから生かされていることに感謝し、今現在を精いっぱい生き、他人の評価ではなく自分自身が納得できる、自分のできることを全てやり切ること。今思うに、それこそが「人間の基本的な生き方」だったと気付かされています。そして今、自分のやりたいことを楽しく、精いっぱいやり続けることが唯一の恩返しであると思っております。

（蛍水　山川正信）

戸籍のまど

2月21日～3月20日受付分

お誕生おめでとう

区名	氏名	性別	父母名
富沢	漆畑 実帆（みほ）	女	諭・輝美
富沢	五十嵐 春明（はるあき）	男	弘・華奈
伏熊	加藤 広也（ひろや）	男	高広・綾
6区	渋谷 遥眞（はるま）	男	洋平・奈苗
8区	菅野 丞太（じょうた）	男	誉生・瞳
美郷	須貝 紗保（さほ）	女	和幸・暁子
藤田	松田 真緒（まお）	女	俊輔・佑茉

ご結婚おめでとう

区名・出身地名	氏名
6区	伊藤 達紘
6区	鈴木 恵理奈
10区	松田 卓也
月が丘	本間 唯
木の沢	小林 裕樹
村山市	仙野 舞

ご冥福を祈ります

区名	氏名	年齢
9区	小林 常泰	(88)
荻野	工藤 とめの	(85)
荻野	最上 敬次	(98)
藤田	富樫 ユキエ	(97)
市の沢	木村 まさ	(100)
伏熊	佐藤 清助	(88)
小見	伊藤 健造	(71)
小見	西田 正志	(82)
諏訪原	高取 キク	(89)
材木	鈴木 勝太郎	(67)
藤田	中村 きよ子	(86)
葛沢	佐藤 孟雄	(91)
9区	遠藤 西郎	(87)

人口と世帯（前月比）

町の人口	8,946人（－29）
男	4,392人（－12）
女	4,554人（－17）
世帯数	2,926戸（＋3）

平成26年4月1日現在

※掲載を希望しない場合は、届け出の際にお申し出ください。

広報おおえ
平成26年4月号（No.638）
2014年4月10日発行
編集・発行／大江町役場総務課
印刷・製本／寒河江印刷㈱

山形県西村山郡大江町大字左沢882-1
http://www.town.oe.yamagata.jp/　E-mail:info@town.oe.yamagata.jp